

分科会について

日程および会場

日時 平成25年7月30日（火） 13:00～16:00

会場 福井県立清水特別支援学校 福井県立福井特別支援学校
福井県立南越特別支援学校 福井県立嶺南西特別支援学校
福井県立奥越特別支援学校 福井県立福井東特別支援学校
福井県立嶺北特別支援学校 福井県立嶺南東特別支援学校

日程

13:00 13:30

各校の設定時間

受付	分科会	アンケート記入後、 分科会ごとに解散
----	-----	-----------------------

*福井大学教育地域科学部附属特別支援学校は、「公開研究会」11月30日（土）に兼ねる。

A 分科会

清水特別支援学校

テーマ 一人一人のニーズに応じた授業における環境づくり
協議の着眼点 ○一人一人が、見通しを持って主体的に活動できる授業の環境づくりについて考える。
内容 ・スケジュールの作成と活用についての取組（3年計画1年次）、児童生徒が見通しを持って主体的に活動できる授業の環境づくり（3年計画2年次）について事例を発表し、研究協議を行う。
助言者 自閉症スペクトラムの子どもと家族の暮らしを支える合同会社ぽると
代表 内田 彰夫 氏

B 分科会

福井特別支援学校

- テーマ 認知・コミュニケーションを育むために
～教師の気づきと子どもの変容～
- 協議の着眼点 ○子どものとらえ方や子どもからの発信の受け止め方について
○よりよい実践のためのアセスメントや事例研究の進め方について
- 内容
- ・認知面の困難さのある肢体不自由児及び重度重複障害児に対する実践紹介
 - ・グループ協議（VTR を用いて）
 - ・他校の情報交換
- 子どもをとらえるためのアセスメントや事例研究の進め方について
- 助言者 福井大学大学院教育学研究科 講師 笹原 未来 氏

C 分科会

南越特別支援学校

- テーマ 人とかかわりを育みながら、一人ひとりが主体的に取り組める生活単元学習
～子ども中心の授業作りを目指して～
- 協議の着眼点 ○一人ひとりが主体的に活動できる授業づくりについて考える。
- 内容
- ・授業改善しながら取り組んだ、中学部の生活単元学習の実践を紹介する。また、授業場面の映像を見ながら、グループ毎に、授業の工夫および改善点について考えていきたい。
- 助言者 日本ポーターズ協会 スーパーバイザー 小坂 正栄 氏

D 分科会

嶺南西特別支援学校

- テーマ 地域の人々や近隣の学校とのつながりを大切にした取組
～小学部・中学部・高等部の取組の紹介～
- 協議の着眼点 ○地域の人々や近隣の学校との交流の意義
○地域の人々や近隣の学校との交流の課題
- 内容
- ・本校と地域の人々や近隣の学校との交流の様子を紹介
 - ・本校の取組についての意見交換
 - ・各校における地域の人々や近隣の学校との交流の概要、成果、課題等の意見交換
- 助言者 福井県教育庁高校教育課特別支援・発達障害児教育グループ
主任 岩井 秀夫 氏

E 分科会

奥越特別支援学校

- テーマ 食品加工室でのパン作り体験および学校見学
- 協議の着眼点 ○本校での作業学習について（食品加工室での取組を中心に）
○各校での作業学習での取組について
- 内容 ・本校の特色の1つとして地域とのつながりを大切に考えた「食品加工室」の設置がある。分科会では、食品加工室での取組を紹介し、実際にパン作りを体験してもらう。また、学校の施設見学を行う。

F 分科会

福井東特別支援学校

- テーマ 個から集団へ
～対人関係、集団参加に苦手意識をもつ生徒を中心に～
- 協議の着眼点 ○近年増えてきた発達障害に起因すると思われる不登校、精神疾患の生徒を社会参加につなげていくための手立てについて考える。
- 内容 ・本校病弱・肢体不自由部高等部の紹介
・高等部3年間の支援について2事例の紹介
・グループ協議
- 助言者 福井県立大学 学術教養センター 教授 清水 聡 氏

G 分科会

嶺北特別支援学校

- テーマ 授業改善につながる授業研究会の在り方
～子どもの行動の適切な評価から授業を考える～
- 協議の着眼点 ○授業づくりに効果的・効率的な授業研究会の在り方について考える。
- 内容 ・授業の VTR を視聴後、グループに分かれて授業研究会を実施する。その中で、授業改善につなげていくために、児童の行動をいかに評価しながら、どのような手続きで会を展開していくとよいのかを考えていきたい。
- 助言者 福井県教育庁高校教育課特別支援・発達障害児教育グループ
主任 小杉 真一郎 氏

H 分科会

嶺南東特別支援学校

テーマ	一人一人の思いを大切にした遊びの指導の在り方
協議の着眼点	○子どもの思いに寄り添った遊びの指導の支援と評価の試み
内容	・本校の小学部低学年における遊びの指導の実践紹介 ・ICF の考え方にに基づいた子どもの行動の読み取りと授業内容の工夫および支援の方法、評価の在り方について考える。
助言者	金沢大学人間社会研究域 学校教育系 教授 吉川 一義 氏

I 分科会

福井大学教育地域科学部附属特別支援学校

「公開研究会」

※特教研分科会を兼ねて開催

日時	平成 25 年 11 月 30 日 (土) 13:00~16:00
会場	福井大学教育地域科学部附属特別支援学校
テーマ	学校・地域・家庭のつながりの中で育つ ～一人一人が活動と参加の質を高める～
協議の着眼点	○一人一人が活動と参加の質を高めるために、学校・地域・家庭がどのようにつながっていくとよいかを考える。
第1分科会	「縦割り集団での学びを深める」 「全校縦割り班活動」の新体制での実践と評価、学部の活動との関連について
第2分科会	「地域での社会参加を高める」 「地域での育ち」をテーマにし、「自立と社会参加」に向けた具体的実践の報告とその中での子どもの育ちについて
第3分科会	「家庭生活の充実につながる支援の在り方」 「家庭生活の充実」につながる学校全体の支援の在り方、および各学部の事例について
助言者	福井大学教育地域科学部 特命教授 熊谷 高幸 氏 福井県教育庁高校教育課特別支援・発達障害児教育グループ 主任 岩井 秀夫 氏 福井大学大学院教育学研究科 教授 松木 健一 氏 福井大学大学院教育学研究科 特命助教 山口 真希 氏 福井県特別支援教育センター 指導主事 榎田 聖子 氏 社会福祉法人ウエルビーイングつるが 理事長 福田 晋介 氏 福井大学大学院教育学研究科 講師 笹原 未来 氏 福井市教育委員会 指導主事 坪川 修一郎 氏 「あ」の会子育て相談所・障害児のこば研究所代表 小川原 芳枝 氏 福井大学教育地域科学部 教授 三橋 美典 氏

・8月下旬に各校に公開研究会の案内を送付いたします。また、本校ホームページにも「案内・申込用紙」を掲載しますので、御利用ください。たくさんの方の参加をお待ちしています。